

「ウイルスとの戦いはずっと続く」 5類移行後も不安消えないグループホームやひっ迫する病院…新たな感染拡大にどう備えるか

7/20 北海道放送



<https://news.yahoo.co.jp/articles/bee1bc6b1889261c8d9ce4866de30f46ea525505>

感染への不安は、まだ消え去っていません。

70代から90代の8人が暮らす、札幌市手稲区のグループホームです。

グループホーム郷（さと） 稲村泰一さん

「外部の人はしばらくはまだお断りしています」

新型コロナが5類に移行した今も、関係者以外は施設に立ち入ることができません。

感染拡大の新たな波に、私たちはどう備えるべきなのか、もうひとホリします。

グループホームを経営する稲村泰一さん。

感染対策に神経を使う日々が続いています。

グループホーム郷 稲村泰一さん

「(変わらないということ?) そうですね、対応は変わりません。(ウイルスは) みんな外から持ってくるので、気を付けないとすぐまん延してしまう」

職員には、毎朝の体温測定はもちろん、プライベートでもなるべく人混みを避けるよう呼びかけています。

入居者は、病院以外の外出は基本的に禁止で、買い物などは職員が代わりに出かけます。

一方で、これまで玄関越しにしかできなかった面会は、訪問者に発熱がなければ、10分間だけ部屋に入れるようにしました。

入居者のストレスを解消する対策も始めています。

グループホーム郷 稲村泰一さん

「あまり外出できないので、例えば花見や海に車で連れて行って、人混みとは離れて。そうしたらみんな結構喜んでくれるので、そういう機会を多くしてる」

人がいない場所と時間を選び、入居者と一緒に出かける機会を設けています。

グループホーム郷では、これまでに入居者が新型コロナに感染したことはありません。

グループホーム郷 稲村泰一さん

「ウイルスとの戦いはずっと続く。基本的に手洗い・うがい・消毒は全く変わることはない。アフターコロナではなく、永遠に続くと思います」

ススキノの飲食店も、変わり始めています。

去年8月に開店した、クラフトビール醸造所を備えたバーでは、従業員がノーマスクで客を迎えていました。

バーを経営するAPRグループ 青木康明代表

「接客業なのでスタッフの表情は非常に大切。(マスクは)基本的には今自己判断、もしくは極力しないというかたちで会社としては位置づけている。ただ、やっぱりまだまだコロナも9波といわれていることもあるので、体調管理や検温を徹底しているところです」

営業の前後はもちろん、客が途絶えたわずかな時間にも店内を消毒します。

基本的な感染対策は続けながらも、客にくつろげる時間を過ごしてもらうため、従業員にはノーマスクを推奨しています。

APRグループ 青木康明代表

「本当になんとか、なんとか乗り越えたというのが…。乗り越えているというのが率直な感想です」

20日、北海道が発表した最新の感染者数は全道平均で、一定点医療機関あたり8.45人と、3週連続で増加し、5類移行後で最多となっています。

札幌市豊平区の診療所では、発熱患者の対応に追われています。

とよひら公園内科クリニック 藤本晶子院長

「とにかく電話が鳴りっぱなし。12人お断りした人がいた」

18日、発熱で受診した8人のうち、5人が新型コロナの陽性でした。

発熱患者は、ほかの患者への感染を防ぐため、診療所の裏口の仮設窓口で対応していますが、困ったこともおきています。

とよひら公園内科クリニック 藤本晶子院長

「一番困るのが、5類になって意識が薄れたのか、直接来てしまう発熱患者がいる。ほかの患者がいるところに来られると困る」

藤本院長は、必ず事前に電話をしてから受診してほしいと呼びかけています。

まもなく夏休みも始まりますが、この時期、注意すべき点は？

とよひら公園内科クリニック 藤本晶子院長

「閉鎖空間の移動などは窓を開けるなどの換気。(人と)近い距離の場合はマスク。マスクと換気が一番の対策」

さらに、家庭での備えも大切だと話します。

とよひら公園内科クリニック 藤本晶子院長

「ぜひ抗原検査キットを買っておいて、いつでも検査できる体制を整えてほしい。自分で検査できれば、薬だけ出すという診療所もなくはない。自分の身を守るためにも陽性だということをしっかり診断することが大事」

新型コロナが5類になって、私たちにとって大きく変わった部分があります。

無料だった新型コロナの検査・医療費は、5類移行により、自己負担が発生していま

す。

検査費や解熱剤などの薬代に、あわせて 6000 円程度かかります。

このほか入院の費用にも自己負担があります。

また、治療薬は9月末まで無料ですが、10月から自己負担となる可能性があります。

今、多い症状は「高熱、けん怠感、のどの痛み、咳」などです。

医療機関を受診する際は、事前に電話をするようこころがけてください。